

翔べ！松中生

令和4年度 第3号 6月1日発行

「人との繋がりと感謝の気持ち」

校長 齋藤 明

夏のような日差しと降雨が繰り返され、木々の緑も鮮やかになり関東地方の梅雨入りもすぐそこまで来ているようです。

松伏中学校では、福島県南会津町との交流として、1年生ではスキー教室、2年生では宿泊体験学習、3学年では裁ちそば体験を行ってきました。最初の出会いから20年以上も続いている本校では、とても大切な行事です。

今年度も2年生が、5月26日から28日までの2泊3日で宿泊体験学習を実施しました。2年生にとっては、4ヶ月ぶりの南会津町です。スキー教室で、インストラクターをしていただいた方々とも再開することができました。

1日目は、自然体験を行い、農業や林業、自然工作やパン作りなどを、班の仲間と一緒に、にこやかに取り組みました。夕食後は「息吹」の鑑賞です。中学生と高校生のメンバーが、東日本大震災で福島県民の味わった辛い思いを、とてもメッセージ性の強い組踊で表現してくれました。私たちも故郷松伏のために何ができるのかと考えさせられました。

2日目は、尾瀬の自然散策です。班ごとに、まだ雪が残る山の中、水芭蕉の花などを観察し、春の訪れを感じることが出来ました。また、案内のガイドさんやペンションのオーナーさんなど地域の方とも貴重なふれあいの時間を過ごすことができました。

3日目は、「息吹」のメンバーから組踊を習いました。最後に、一生懸命覚えた成果をクラスごとに発表しました。その後、息吹のメンバーと昼食をとり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。お別れの時にバスに手を振る息吹の皆さんに、2年生も「全力」で手を振り返す姿があり、嬉しく思えました。

とても、学びの多い3日間を過ごすことが出来ました。

この南会津との3年間の交流で大切なことは、「人との繋がり」です。そして、その繋がりが感謝の気持ちとなり、言葉や挨拶などに表わすことができます。まさに、「心内にあらば、色外に現る」(心の中で思っていることは、自然と顔色や動作などに現れる。)ということです。

1年生のスキー教室では、初めての場所で初めての出会いですから、挨拶も「これからよろしくお願いします。」から始まります。2年生の宿泊体験学習では、1度お世話になっている方もいますので、「ご無沙汰してます。またお願いします。」や「スキー教室ではお世話になりました。」「スキーが楽しかったので今回も楽しみにしています。」という関係が深まった挨拶や会話になりますね。3年生での裁ちそば作りの時、3年間の繋がりをどんな言葉で迎えるのか、どんな思いで交流するのか、今からとても楽しみです。きっと、南会津の方々も成長していく生徒の皆さんに会うのを楽しみにしてくれていると思います。1年生や3年生もこれからの交流が楽しみですね！

最後に、6月中旬には、3年生にとっては最後の大会である学校総合体育大会があります。「人との繋がり」は、部活動でも一緒です。自分を信じ、仲間を信じて、最後の瞬間まで、粘り強く頑張ってください。応援しています。

輝け！「心で勝つ」 松伏中。

